

夏期研修会のご案内

3月に延期した春期研修会の内容と同じプログラムでお届けします

研修内容（要旨は裏面）

2020年8月22日(土)

10:00~13:00 障害を持つ子どものいる家族支援
—家族一人一人のより良い生活を目指して ころとからだのアプローチ—
本郷メンタルサポートさぶる主宰 倉田知子 先生

14:00~17:00 ひきこもり支援のこれまでとこれから
—「家族」の捉え方に着目して—
静岡大学人文社会科学部社会学科教授 荻野達史 先生

2020年8月23日(日)

10:00~13:00 乳幼児を対象とした支援への一提案
—家族療法的な見立てを用いたコンサルテーション—
臨床心理士 公認心理師 駒場優子 先生

14:00~17:00 加害者への治療・教育的プログラムを、
家族関係の再構築に生かすために
—家族の中で起きる暴力への理解と応答—
臨床心理士 公認心理師 相澤雅彦 先生

本研修は、家族心理士・家族相談士の継続研修実績（3時間1P）の対象となります。

- 会 場 連合会館 204会議室（いつもの会場ではありません）
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11 TEL. 03-3253-1771(代)
- 定 員 70名(会場定員の半数に限定しています)
- 申込締切 8月15日(土) 会員・有資格者のみなさまに郵送している案内の参加費に表記誤りがありましたので、訂正しています。
- 参加費

	締切り前の振込(税込)	締切り後の振込(税込)	一日のみ参加(税込)
協会員	19,800円	20,900円	各日 11,000円
一般	25,300円	26,400円	各日 13,200円

※日本家族心理学会会員、学生、院生は会員と同額にします（当日確認できるものをご持参ください）
※参加費は一日単位となります

新型コロナウイルス感染拡大の状況で開催を中止する場合があります。開催の有無は 8月15日に協会HP（<http://www.j-f-c-a.org>）に告知いたしますので、必ずご確認ください。

NPO法人 日本家族カウンセリング協会

東京都杉並区梅里 2-40-16 ビラージュ白井 7F

TEL) 03-3316-1955 FAX) 03-3316-1956 URL) <http://www.j-f-c-a.org>

プログラムの内容

■8月22日(土) 10:00~13:00

障害を持つ子どものいる家族支援

倉田知子(くらたともこ)先生

子どもも家族も一人一人が自分らしく前向きな生活を送るための考え方と支援方法を学びます。前半はストレスマネジメント理論に基づいた考え方をご紹介、後半は家族のコミュニケーションとして、またセルフケアとして、こころが動く簡単なからだのワークをご紹介します。自分のからだは変化すると気持ちも前向きになります。からだは楽になり余裕ができると考え方にも余裕が出ます。臨床動作法に基づくワークショップです。

《プロフィール》臨床心理士・臨床動作学講師・公認心理師。本郷メンタルサポートさぶる(supple)主宰としてカウンセリング・心理研修セミナー、臨床動作法研修会などを開催。自治体や教育委員会の対人援助職向けセミナー、学校保健委員会や児童生徒への講師などを務めるほか、保育園の障害児巡回相談員、私立学園で幼稚園から高校までのカウンセリング、心の授業等も行なっている。

■8月22日(土) 14:00~17:00

ひきこもり支援のこれまでとこれから

荻野達史(おぎのたつし)先生

ひきこもり支援についてフィールドワークを継続してきた社会学研究者として、ひきこもり支援政策の歴史も振り返りながら、関連する諸制度、諸機関、民間支援も含めて蓄積されてきた支援方法のバリエーション、地域的な取組みにおける近年の動向について概説します。また、その上で、とくに「家族」を支援しつつ「家族を開く」という視点から、ひきこもりについて今後求められる支援の在り方と課題について検討したいと思います。

《プロフィール》静岡大学人文社会科学部社会学科教授。東京都立大学社会科学部社会学科にて社会学を学び、1999年に静岡大学着任、2012年より現職。2001年よりひきこもり支援のフィールドワークを開始し、現在は産業精神保健にも関心を持つ。著書『「ひきこもり」への社会的アプローチ—メディア、当事者、支援活動—』(共編著)ミネルヴァ書房、『ひきこもり もう一度、人を好きになる—仙台「わたげ」、あそびとかかわりのエスノグラフィー—』(単著)明石書店、『臨床心理士のための精神科領域における心理臨床』(共著)遠見書房、『ひきこもりの心理支援—心理職のための支援・介入ガイドライン—』(共著)金剛出版など

■8月23日(日) 10:00~13:00

乳幼児を対象とした支援への一提案

駒場優子(こまばゆうこ)先生

乳幼児を対象とした幼稚園、保育園、また、家庭への支援のコンサルテーション場面を想定し、家族療法的な見立てを用いて、直接子どもに関わる支援者(幼稚園教諭、保育士、母親、父親、祖父母、ベビーシッター等)への効果的な支援を考える。当日は、コンサルテーション面接について概観し、後半では事例を中心に実践的な介入を検討していく。

《プロフィール》臨床心理士、公認心理師、保育士。専門は、発達心理学、家族心理学、犯罪心理学、短期・家族療法、グループ療法。現在は巡回発達心理相談員、子ども家庭支援センター相談員、刑事施設処遇カウンセラー、公立学校スクールカウンセラーとして、臨床活動を行なっている。

■8月23日(日) 14:00~17:00

加害者への治療・教育的プログラムを、家族関係の再構築に生かすために

相澤雅彦(あいざわまさひこ)先生

社会及び刑事施設で加害者への再発防止の取り組みが進んでいます。背景には被害者支援の一環として、加害者への治療・教育的プログラムの必要性が重視されたことが挙げられます。導入当初は暴力の再発を前提としたリスクマネジメントが中心でした。現在は加害者をプログラムに招き入れ、加害者が主体的に再発防止に取り組むようなアプローチが取り入れられつつあります。暴力という目の前に提示された緊急事態の鎮静だけでなく、家族関係の回復に繋がる介入を模索する時間を共有できたらと考えています。

《プロフィール》公認心理師、臨床心理士。小学校から大学までの教育場面を中心としたスクールカウンセリングに携わる一方、社会でのDV加害者や刑事施設での再犯防止プログラム、情状鑑定などにも取り組んでいます。集団を含む認知行動療法や解決志向アプローチの技法を中心に、イメージを媒介とした表現療法的アプローチも個人の変化に重要な技法だと考えています。不適応行動を予防する具体的な方策の検討と、人がよりよく生きていくための「これから」を考えていく。両面へのアプローチを重視しています。

● 申込み方法 参加費のお支払いをもって申込みとします

- ※ 同送もしくは郵便局備え付の振込用紙にて下記必要事項を記入し参加費をお振込みください。
通信欄記入:①参加日 ②会員/一般(学会員、学生・院生の方はその旨明記) ③職業(一般の方のみ) ④資格(家族相談士、家族支援士、家族心理士) ⑤お名前 ⑥ご住所 ⑦連絡先を明記ください。
- ※ 参加費受領確認後、受講票をお送りします。当日お持ちください。(お振込後、10日過ぎても受講票が届かない場合は協会事務局までお問い合わせください)
- ※ 締切日以降の申込は申込状況をお問い合わせください。
- ※ キャンセルは、申込み締切日までは参加費全額返金開催日前日までは半額返金。但し、事務手数料1,000円と振込手数料分を差し引かせていただきます。
連絡なく欠席の場合は返金いたしません。

● 振込先 郵便振替口座 No.00130-8-352278 加入者名 日本家族カウンセリング協会研修会

● 交通案内

連合会館 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11

《地下鉄》

東京メトロ千代田線

「新御茶ノ水駅」B3出口(徒歩0分)

東京メトロ丸ノ内線

「淡路町駅」B3出口 ※(B3出口まで徒歩5分)

都営地下鉄新宿線

「小川町駅」B3出口 ※(B3出口まで徒歩3分)

丸ノ内線/新宿線をご利用の方は地下道を通り千代田線方面へ
※B3a・B3b出口は、違う方向へ出ますのでご注意ください。

《JR》

JR中央線・総武線

「御茶ノ水駅」聖橋口(徒歩5分)